

環境教育用教材

「環境の保全を推進する協定協議会」は、豊田市内の事業者向けに環境規制の概要や法令遵守の取組を学ぶ教材を**企業目線**で作成しています。今回、01 02の内容を見直し、第3版を発行しました。

改訂ポイント

環境法令一般

〈第3版〉発行



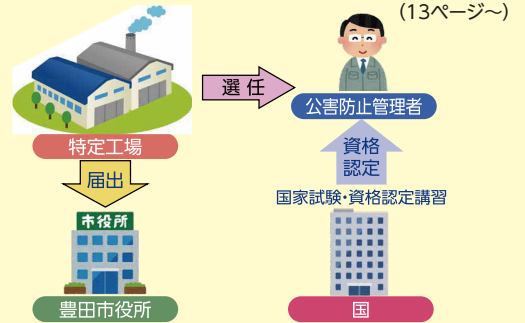
法令の種類と関係を掲載

(5ページ)

国	法律	地方公共団体	条例	
	命令		政令	規則
			府令	告示
	告示		要綱	
	通達		協定	

公害防止組織法を詳しく掲載

(13ページ～)



掲載法令の見直し

- 下水道法
 - プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)
 - 高圧ガス保安法
- を追加

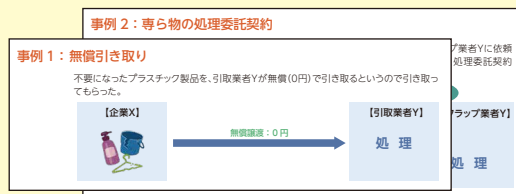
廃棄物・リサイクル

〈第3版〉発行



担当者が知っておきたい間違いやすい事例を掲載

(27ページ～)



水銀含有廃棄物を掲載

(14ページ)



収集運搬車両の確認事項を詳しく掲載

(22ページ)

◎ 運搬車への表示

- 産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨
- 氏名又は名称
- 許可番号(下6桁)

◎ 運搬車への書面備え付け(携帯)

- 産業廃棄物収集運搬業の許可書(写し)
- 電子マネーの加入証(写し)
- 以下の事項を記載した書面(電子情報でも可)
 - 運搬する産業廃棄物の種類及び数量
 - その運搬を委託した者の氏名又は名称

覚えておきたい環境法令

01 環境法令一般 (2023年2月発行 第3版)	02 廃棄物・リサイクル (2023年2月発行 第3版)	03 大気汚染・悪臭 (2021年2月発行 第2版)
04 騒音・振動 (2021年2月発行 第2版)	05 水質・地下水・土壌 (2022年2月発行 第2版)	06 化学物質・リスクコミュニケーション (2022年2月発行 第2版)

環境教育用教材01～06

閲覧・ダウンロード

「環境の保全を推進する協定協議会」ホームページで閲覧、ダウンロードできます。



<https://kankyou-hozen.org/>

環境の保全を推進する協定協議会

(事務局) 豊田市環境部環境保全課
TEL 0565-34-6628 FAX 0565-34-6684
(E-mail) k_hozen@city.toyota.aichi.jp

環境の保全を推進する協定協議会

環境の保全を推進する 協定協議会

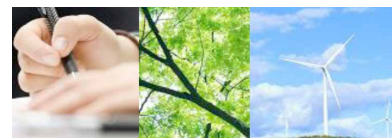


環境の保全を推進する協定協議会は、協定企業（豊田市と環境の保全を推進する協定を締結した企業）と豊田市で構成する団体です。持続可能な社会を実現するため、協定企業と行政が連携し、各々が持つノウハウやツールを活用した取組を行っています。協定企業各社の環境取組を共有・市内の企業や市民へ発信し、環境配慮行動（環境にやさしい取組）を拡大します。

主な取組

▶ **協定協議会Webサイト** <https://kankyou-hozen.org/>

企業や市民に向け、イベント開催案内や環境取組支援情報（環境取組事例、法令情報、環境教育教材のダウンロード等）、写真や動画を使った活動実績を情報発信しています。



▶ **事業者向け環境取組技術支援セミナー**

▶ **エコ企業見学・環境学習会**

など

協定企業 33社

トヨタ自動車(株)、愛三工業(株)、(株)アイシン、アイシン高丘(株)、住友ゴム工業(株)、大豊工業(株)、(株)東海理化電機製作所、トヨタ車体(株)、トヨタ紡織(株)、日本発条(株)、フタバ産業(株)、(株)FTS、キューピー(株)、(株)協豊製作所、小島プレス工業(株)、シロキ工業(株)、中央精機(株)、中央発條(株)、豊田化学工業(株)、豊田鉄工(株)、トリニティ工業(株)、大岡技研(株)、(株)オティックス高岡、(株)三五、豊生プレーキ工業(株)、アイシン化工(株)、大豊精機(株)、光生アルミニウム工業(株)、サンコール(株)、林テレンプ(株)、豊和化成(株)、内浜化成(株)、(株)デンソー

※協定締結順、五十音順、2023年1月時点

▶ 協定企業の環境取組を紹介 ◀

トリニティ工業株式会社

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するため、地球温暖化対策やサーキュラーエコノミーなどを通じて、環境問題に取り組んでいます。

地球温暖化防止への貢献

- 1 自社のカーボンニュートラル(CN)に向けた活動
 - エネルギー使用量の見える化と低減
 - オール電化の新生産ライン導入
 - 再エネの導入 など
- 2 お客様のCNに貢献する設備の開発・導入

省資源で環境にやさしい製品づくり

- 1 水環境インパクトを低減する活動・水レス化に貢献できる設備開発
- 2 化学物質・廃棄物管理
- 3 省資源、再資源化
 - 廃プラスチックのリペレット化の推進 など

環境技術革新

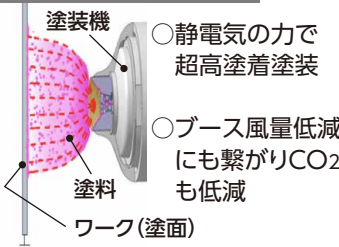
- 1 新たな環境技術の開発
- 2 社内表彰等を通じたイノベーションの促進

社会貢献活動など

- 1 地域貢献
 - 地域清掃 など
- 2 環境啓発活動
 - 「SDGs強化月間」設定 など

取組事例

エアレス静電塗装機



三好工場への太陽光パネル設置



日本発条株式会社

持続可能な社会を目指し、当社グループは「ニッパツグループ環境チャレンジ」を宣言しました。

ニッパツグループ 環境チャレンジ

環境チャレンジ1. カーボンニュートラル宣言

- 2030年 CO₂排出量を2013年度比50%減
- 2039年 カーボンニュートラル達成

カーボンニュートラル達成のための主な施策

- エネルギー源を変える**
 - 生産活動関連設備の電化
 - 太陽光発電設備の設置
- エネルギーの消費を抑える**
 - 生産工程の省エネ
 - 高効率の新技术や製品の開発



横浜事業所 太陽光パネル

環境チャレンジ2. 産業廃棄物"0"を目指す

- 2030年 産業廃棄物量を2013年度比95%減

産業廃棄物"ゼロ"を目指すための主な施策

- 産業廃棄物削減活動**
 - 廃棄物を出さない工夫・検討
 - リサイクル業者の再検証、有価物化の推進
- サーマルリサイクル削減(焼却時のCO₂排出の削減)**
 - 石炭、化石燃料の代替品となる廃プラスチック燃料の削減
 - マテリアルリサイクルへの検討、リサイクル業者の再検証